

地方創生加速化交付金に係る事業効果検証結果について

今治地域造船人材育成・確保強化事業 事業費：73,293 千円

- 補助金交付団体：今治地域造船技術センター
- 補助率：10/10
- 事業実施期間：平成 28 年 5 月 2 日～平成 29 年 3 月 31 日

(1) 事業の成果

平成 17 年 3 月に設立され、これまでに若手造船技能者 1,300 人超の受講生を輩出してきた「今治地域造船技術センター」において、現在地域の造船会社が抱える人材不足という課題を解消するため、新たに造船生産設計並びに塗装業務に関する研修の開講準備をし、若手技術者の技術向上による国際競争力の強化を図り、造船会社の経営安定へ繋げ、人材確保することができた。

今治地域造船技術センターの研修実績

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
初級研修	61	76	116	133	130	93	67	56	40	48	98	113
中級研修	—	—	16	18	15	93	89	23	25	17	19	18
海洋工学 研修	—	—	—	—	—	—	40	25	23	16	28	37
計	61	76	132	151	145	186	196	104	88	81	145	168

(注) 初級研修・・・高校卒業新規採用技能者対象

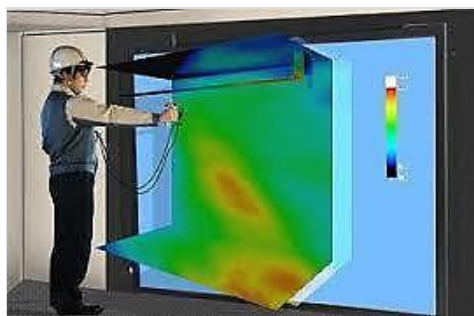
溶接・ガス切断・クレーン操作等の基礎的な研修

中級研修・・・入社 5 年～10 年程度の技能者対象

造船溶接、船殻組立、配管艤装の 3 職種ごとの専門的研修

海洋工学研修・・・大学理工学部卒の新規採用設計者対象

造船設計に必要な海洋工学に関する専門的な研修（サテライト研修）



3D-VR 塗装シミュレータ

(2) 事業の内容

①新規研修メニュー開講準備事業

1) 造船生産設計基礎研修の開講準備

※主な経費 3D-CAD (ソフト込み) 導入経費

2) 塗装業務初級研修の開講準備

※主な経費 3D-VR 塗装シミュレータ導入経費

3) 新規研修コーディネイト業務

造船生産設計基礎研修並びに塗装業務初級研修開講のためのコーディネイト業務

- 研修カリキュラムの作成業務
- 研修教材の作成業務
- 研修講師の依頼・育成業務

②造船技能検定・コンクール実施業務

1) 造船技能検定の実施(平成 29 年 2 月 18 日)

造船溶接 2 級 (従事年数 5 年～10 年程度)

検定会場：新来島どっく大西工場

※主な経費 実技試験用原材料 (鋼板等) 費、試験会場使用料等

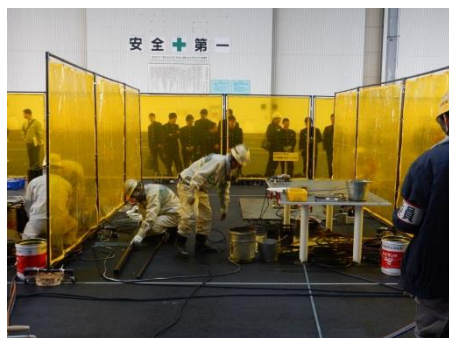
2) 造船技能コンクールの実施 (平成 29 年 1 月 29 日)

造船技能コンクール (配管艀装の部)

※主な経費 コンクール課題用原材料 (鋼管パイプ) 費、会場使用料、備品購入費 (パイプベンダー等)

3) 造船技能検定・コンクール課題等作成業務

検定問題 (筆記・実技)、解答・コンクール課題、採点基準の作成業務



造船技能コンクール開催状況

(愛媛県立今治工業高等学校機械造船科の生徒が多数見学に訪れた。)

(3) 外部団体による事業検証評価について

検証実施団体名 今治地域造船技術センター事業検討委員会

(構成：国土交通省四国運輸局、厚生労働省愛媛労働局、愛媛県高等技術専門校、その他市内造船会社等)

平成28年度今治地域造船技術センター事業評価（抜粋）

今治地域造船技術センター事業検討委員会

今治地域造船技術センターの平成28年度事業について、下記のとおり事業評価する。

『今治地域造船人材・確保強化事業』について

今年度、今治市からの補助金を受けて実施した『造船人材育成・確保強化事業』では、『新規研修メニュー開設準備事業』と『造船技能コンクール事業』、『造船技能検定事業』の3つの事業を実施した。

『新規研修メニュー開設準備事業』では、これまで実施していなかった『塗装業務研修』と『設計基礎研修』の平成29年度開講を目指し、各検討部会を設置し、3D-VR塗装シミュレータや3D-CAD対応パソコン等の備品購入や、カリキュラム・教材の準備を実施した。

また、『造船技能コンクール事業』及び『造船技能検定事業』では、昨年度実施した『造船人材育成支援事業』で作成した職業能力評価基準書を元に、「造船溶接2級」の造船技能検定を実施した。技能検定は、初めての取り組みであったこともあり、学科試験と実技試験ともに前日に事前講習を行った。

造船技能コンクールについても、昨年度までのノウハウを元に「第3回造船技能コンクール配管艀装の部」を開催した。

本事業で、実施した技能検定やコンクールは、技能者の技能習得意欲の向上に繋がると考えられることから、来年度以降継続していくことを求めるとともに、来年度開講するため準備を進めている「塗装業務研修」と「設計基礎研修」については、様々な職種が多様に絡み合う造船業にあって特にニーズが高い研修と思われることから、今治地域の造船技術全般の底上げのため効率よく研修できることを期待する。